



教育支援センターだより

7月号 令和8年度 第4号
令和8年 7月17日発行(通算196号)

鴻巣市立教育支援センター

〒369-0133 鴻巣市小谷1890番地1
TEL 048-569-3181
FAX 048-569-1773

花かおり
緑あふれ
人輝くまち
このす



- 教育相談事業
- 適応指導教室事業
- 特別支援教育事業
- 研修事業

読みと書きに困難のある子どものサポート

専門教育相談員 齋藤 恵子

私は、専門教育相談員として活動しています。日々、保護者や子どもたちから様々な相談を受けてお話を伺い、よりよい支援の方向を一緒に考えていきます。その中で、「教科書を読んだりノートに書いたりすることだけがうまくできず、とても困っている」といった相談を受けることがあります。事情を確認しながらお話を進めていくと、「読み書きの困難さ」が極めて大きなストレスになっていることがわかります。本人の努力の問題ではなく、元々もっている能力がアンバランスであるがために、学習活動を思うように進められないのです。この問題は、「得意・苦手」という捉え方や「頑張ればなんとかかなる」という働きかけでは解決することができません。

相談者の訴える「読み書きの困難さ」の特徴としては、

- ・全く読めない書けない訳ではない。
 - ・読めるし書けるけれど・・・たどたどしい。
 - ・間違えやすい。
 - ・疲れるのでたくさんできない。
 - ・時間がかかる。
 - ・たくさんのエネルギーを使うので午後は寝てしまうことが多い。
- 等があり、ストレスはたまっていくばかりです。

では、「読み書きの困難さ」をもつ子どもの困りの原因は何かといえは、

- ・読むこと = 目で読まなければならない
 - ・書くこと = 手で書かななければならない
- と考えられます。そこで、この困難さへの支援策の一つとして、
- ・読むこと → 耳で聞いて理解する
 - ・書くこと → タブレットを利用する

という「合理的配慮」が考えられます。また、クラス全員を対象に、何を使って読むか、何を使って書くかが選択できる環境にすることで「ユニバーサルデザイン」にもなります。

さらなる策としては、個人の「読み書き」の力を伸ばすためのトレーニングとして通級指導教室ウイング・ステップの利用や特別支援学級での弾力的な支援も考えられます。個別での読み書きサポートは、時間や時期に限らず取り組むことが大切で確かな伸びが期待されます。早期対応であればさらに効果的であるという研究結果もあります（関『発達心理学研究2022』）。

読んだり書いたりする活動は、すべての学習の基本となります。ですから読み書きに困難さを抱えた子どもたちが、学ぶことが楽しくなくなったり嫌いになったりしないように早く支援の手を差し伸べる必要があります。私も、支援者の一人として力を尽くしたいと思います。



ご相談までの流れ

いじめ・不登校への対応、子育て相談、発達相談。就学相談 等

- 【予約】 子育て等にお困りのことがあれば、まず電話をお願いします(569-3181)。その際、相談の概要を伺います。後日改めて、相談に対応する担当者からお電話を差し上げます。ここで、来所いただく日時を調整してください。
- 【来所】 車でお越しいただく場合、敷地内の駐車場をご利用ください(昨年8月から旧小谷小学校へ移転しています)。外階段を昇り、センター2階の玄関からお入りください。正面の事務所にお声掛けいただければご案内します。大人用の備え付けスリッパをお使いください。お子様用の上履きをお持ちいただくのをお勧めします。
- 【相談】 専用の個室でご相談を伺います。1回の相談は1時間が目安で、個人情報厳守します(相談無料)。

6月の相談状況 380件

相談内訳		
	R8. 6月	R8. 5月
相談員等の学校等への訪問	154	155
相談者来所	124	79
電話	102	100
主な相談者別内訳		
小学生保護者	80	62
小・中教職員	76	85
小学生	75	31
未就学児	42	66
中学生保護者	30	26
主な相談内容		
性格・行動	107	106
不登校	105	90
就学	55	27
特別支援	53	55

夏休みを元気に
過ごすために！

シリーズ

0歳～15歳までの一貫した教育の推進
熱中症の予防と対策

今年、最高気温40℃以上の日を「酷暑日」とする新たな気象用語が定められました。夏の暑さは年々厳しくなっており、健康を守るために十分な注意が必要です。中でも熱中症は、いつでもどこでも誰でも条件次第で発症する危険性があり、場合によっては命に関わる事態になりかねません。特に子どもは、大人より暑さに弱いため、次のような取組を行いましょう。

- 1 気温と湿度をこまめにチェック。暑さ指数や熱中症警戒アラートも参考にしましょう。**
今いる環境の熱中症危険度を常に気にする習慣をつけることも重要です。
- 2 屋内で熱中症になることもあります。エアコンや扇風機を適切に使いましょう。**
日差しのない屋内なら大丈夫と油断しがちです。屋外と同じ対策を意識しましょう。
- 3 喉の渇きを感じなくても、こまめに水分補給しましょう。**
暑い日には、じわじわと汗をかいています。水筒やペットボトルを持ち歩かせましょう。
- 4 通気性の良い服装で、帽子など日よけ対策もしましょう。**
子どもは放熱や発汗による体温調節がうまくできません。暑さに応じて脱ぎ着させましょう。
- 5 日差しや地面からの熱を防ぎましょう。**
背が低いことやベビーカーの利用により、大人より地表からの熱を受けやすくなります。
- 6 子どもの異変に敏感になりましょう。**
子どもは体調不良を自分の言葉で十分に訴えることができません。大人が気にかけてみましょう。
- 7 無理をせず、適度に休憩しましょう。**
遊びに夢中になると、熱中症のサインに気付くのが遅くなります。周囲の見守りが必要です。
- 8 短時間であっても絶対に車内を子どもだけにせず、降ろし忘れにも注意しましょう。**
乳幼児は自分の力で移動することができません。短時間の放置も危険です。
- 9 十分な睡眠と食事を摂りましょう。**
暑さに負けない体づくりが大切です。適度な運動、適切な食事、十分な睡眠を心掛けましょう。
(参考：こども家庭庁HP)



7・8月の行事予定

月	日	曜	行 事
7	9	木	教育相談担当者・さわやか相談員等連絡会議
	10	金	Let's教室 1学期終わりの会
	15	水	第2回校内教育支援センター推進教諭研修会
	15・22	水	小学校入学準備講座(2日間)
	22	水	新任教員研修施設体験研修 8:30
	23	木	まなびの教室 14:00 生徒指導・教育相談中級研修会(1/3)
	24	金	特別支援教育夏季研修会
8	27	月	生徒指導・教育相談中級研修会(2/3)
	5	水	生徒指導・教育相談中級研修会(3/3)
	20	木	若手教員(3年経験者)研修会 9:00

1学期のLet's教室

通常は教室内の自主学習が中心ですが、近隣施設の見学、軽いスポーツ、花壇づくり、講師を迎えての授業等も行っています。



グラウンド
ゴルフ



調理実習



A L T 授業